



NISSAY
ASSET MANAGEMENT

News Release

ニッセイアセットマネジメント株式会社

2020年4月28日

「新型コロナウイルス感染症」拡大に伴うスチュワードシップ活動の方針について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：大関洋、以下、「当社」）は、「受益者」の中長期的なリターン向上を目的とした調査・投資活動、スチュワードシップ活動を行っております。

当社では、議決権行使においても、中長期的な企業価値向上を念頭に、議決権行使基準の策定（最新版：2020年2月26日公表）および議決権の行使を行ってまいりましたが、このたびの「新型コロナウイルス感染症」の拡大に伴い、多くの経済活動がストップ・自粛されるなど異常な（平時でない）事態にあることを踏まえ、平時にもまして、中長期的な視点からの対応を行ってまいります。

具体的には、関係者の健康に配慮した運営が可能となる定時株主総会・継続会／バーチャル株主総会の開催に賛同するとともに、剰余金処分議案の賛否においては、企業の流動性枯渇リスクにも配慮し、その判断を適切に実施してまいります。このような取り組みは、今回のような異常時における内部留保の過剰な流出を防ぎ、企業の持続的な成長に欠かせない、人材や研究開発・設備投資資金の確保につながるものと考えています。

また、当社ではこれまで投資先企業の持続的成長力（サステナビリティ）を把握するための軸として、ESG評価を行うことが重要であると考え、2008年から当社独自のESG評価を運用プロセスに組み込み、中長期の業績予想の確信度を向上させるよう努めてまいりました。今般の異常事態を受けての経営環境の見通しと企業業績等に与える影響、企業価値維持・向上に向けた対応策（リモートワークなどを活用した企業活動の継続手法、顧客動向や社会環境の変化に伴う経営戦略の変更など）は、企業の持続的成長において重要な事象になりうると考えており、投資先企業には積極的な情報開示をお願いしたいと考えています。このような開示を通じたベストプラクティスの共有化は、パンデミック状況における日本企業・社会全体のレジリエンス（回復力）を高めることにもつながると考えています。

当社は、引き続き責任ある機関投資家として求められる役割と責任を果たしてまいります。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

- ご参考：国内株式議決権行使の方針と判断基準

<https://www.nam.co.jp/company/responsibleinvestor/policy.html>

以上

ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

審査確認番号：他2020-31

この件に関するお問い合わせは

広報室／〒100-8219 東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル

Tel.03-5533-4037

<https://www.nam.co.jp/>